



林原玉枝さん

広島県尾道市生まれ。尾道市在住。

児童文化の会会員。

1985年に「ロクさんのふしぎなるすばん」(こずえ)でデビュー。その後、教育画劇の紙芝居、月刊誌、絵本などを手掛ける。

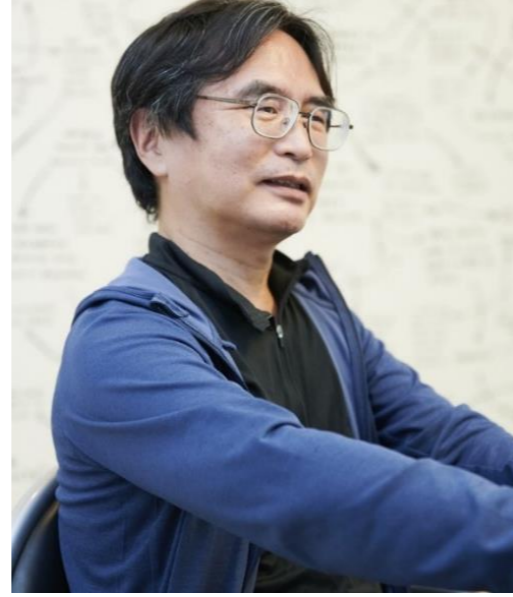
尾道児童文学研究会を主宰し、童話を書きたい仲間と活動を続けている。

2002年から小学校3年国語教科書(光村図書出版)に「きつつきの商売」が掲載されている。

【著書】

『草のふえをならしたら』

『ねこの商売』など



撮影／小嶋 淑子

東川篤哉さん

1968年広島県尾道市生まれ。

岡山大学法学部卒。

広島カープが初めてリーグ優勝をした1975年にカープファンとなる(当時7歳)。

2002年カップ・ノベルス新人発掘プロジェクトにて『密室の鍵貸します』でデビュー。2011年『謎解きはディナーのあとで』で本屋大賞受賞。

ユーモア本格ミステリ屈指の書き手として幅広い世代から愛されている。

【著書】

『放課後はミステリーとともに』

『交換殺人には向かない夜』など



今村夏子さん

1980年広島県広島市生まれ。

2010年「あたらしい娘」で第26回太宰治賞を受賞しデビュー。「こちらあみ子」と改題し、同作と新作中編「ピクニック」を収めた『こちらあみ子』で2011年に第24回三島由紀夫賞を受賞。

2017年『あひる』で第5回河合隼雄物語賞、『星の子』で第39回野間文芸新人賞、2019年『むらさきのスカートの女』で第161回芥川賞を受賞。

【著書】

『木になった亜沙』

『とんこつQ&A』など

プロフィール写真の撮影は可能ですが、SNS等で発信・拡散はお控えください。